

社会科 山場を中心とした授業指導案

指導者；杉本 彰子

- 日時 ; 平成29年2月7日(火) 4限(11:45~12:35)
- 場所・生徒数 ; 選択3教室・3年B組22名(男13人, 女9人)
- 単元名 ; 国際社会と主権国家
- 本時の目標 ; 国家主権、内政不干渉をふまえつつ、人権問題を正していくにはどうすればよいかを考える。

導 入	・ 国家が成り立つために必要なことは何だろう。〈個人→ペア→全体〉
--------	-----------------------------------

めあて； A国の人権問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。

展 開 I	・ A国、B国のそれぞれの立場を確認しよう。〈個人→全体〉
-------------	-------------------------------



A国の問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。
〈個人→グループ→全体〉

展 開 II	・ 国際社会の原則を確認しよう。
--------------	------------------

ふ り 返 り	・ A国の問題を正すために、B国はどうすればよいのだろう。〈個人〉
------------------	-----------------------------------

